

本屋さんを救って、 街を救う！

Save Your Bookstore

恩智駅前ショッピングセンターをご存じでしょうか？
八尾市にある近鉄大阪線恩智駅の駅前すぐ！という
立地の良さ、雨に濡れることのないアーケード完備。
ここには“衣・食・住”がほぼ全て揃うバラエティ豊かな
お店が並んでいます。



恩智駅の一日当たりの乗降客数は約4,800人と、3駅離れた
近鉄八尾駅の約33,000人と比べると圧倒的に少なく、利用者は
減少傾向にあります。

そんな恩智駅前には50年以上営業されている
本屋さんがあります。

今回はその本屋さん「弘鈴堂」の生き残りをかけた
挑戦に、八尾支店の寺尾が伴走した事例をご紹介します。



近鉄恩智駅前の
書店「弘鈴堂」





街の本屋さんが、どんどん消えていく！

今回で紹介する「弘鈴堂(有限会社森田書店様)」は昭和46年に創業されました。近年、インターネットの普及に伴う読書離れ、ネット販売や電子書籍の台頭、業界の構造的問題といった理由で街の本屋さんが次々と姿を消し、書店に行きたくても行くことのできない『書店難民』が各地で発生しています。



本屋さんの後継者が立ち上がる

現在の店長はご高齢とされましたが、幸いにも同社には「**状況を打破し、本屋を残したい!**」と考える後継者の久米様がいらっしゃいました。

久米様は書店の一角を改装し、住宅が多い地域柄に合わせて惣菜の製造販売をすることで、新たなお客様へのアプローチをしたいと考えておられました。そして、夢の実現のために訪れた商工会議所で、事業再構築補助金の存在を知ります。久米様は、事業計画書策定について「弘鈴堂」の担当税理士さんに相談。その税理士さんが、当金庫をご紹介してくださったのをきっかけに、八尾支店の寺尾を中心とした本屋さんを守る今回のプロジェクトが始まりました。



文具雑貨から駄菓子もあつかう楽しい店内



本屋さんを残すプロジェクトの開始

同社の想いを実現するためには、乗り越えなければならないハードルがありました。それは、補助金の申請に必要な事業計画の作成でした。久米様はこれまで補助金を申請したことがなかったため、事業計画作成の経験がないところからのスタートだったのです。

補助金申請までのスケジュールはかなりタイトでしたが、訪問を重ねる中で、久米様の熱い想いを受け取り、寺尾は何とかその想いを叶えようと、補助金申請のサポートと融資申請に着手。**補助金申請書は面談や電話、メールなどで何度もブラッシュアップ。全員が納得のいく計画書が完成し、無事に申請することができました。**

ただ寺尾には一つ気がかりなことが。それは「補助金の採択を問わず新規事業を始めたい」という久米様の言葉でした。再構築補助金が採択されない場合を想定し、他に何かできることはないかと模索していた際に、寺尾は八尾市が募集する補助金のことを知りました。再構築補助金より少額となるものの、計画書の土台があることから、こちらの申請も行うことにしました。

結果として「**事業再構築補助金**」「**八尾市の補助金**」の両方が採択となり、補助額の大きい事業再構築補助金を利用することとなりました。**間もなくして店舗改装に着手し、無事に惣菜販売を開始することができました。**



家庭の味を、お昼や晩ごはん、お酒のおつまみに。

昔ながらのお店が、地域の人にとってより便利で、温かいコミュニティの場へ。

弘鈴堂



お惣菜部
久米 玲子様

店長
森田 久江様

補助金申請の準備に疲れ切って「一体何のためにやっているのだろう」とこぼした私に、寺尾さんが「明るい未来のためですよ」と言ってくれたことに救われました。この先、悩みを抱えているような人が気軽に立ち寄れる場所にしたいです。

コミュニティバンク京信



寺尾 竜二

惣菜販売が始まってから、店長の森田様や久米様が本当に楽しそうに接客され、また近隣の方がお店を手伝ったり、何より地域のお客様が嬉しそうにお惣菜を買いに来られる様子を見て、地域のコミュニティの場が増えたことを再認識しました。今後もこのような場で、地域の絆づくりに関わっていきたいと思います。



パン屋さんとのビジネスマッチングを実現

野井社長は商品展開を考える中で「和のイメージがある“ねぎ”を身近な洋の食品と組み合わせることはできないか」と、パン屋さんとのコラボレーションを考えておられました。

辰巳はさっそく、京都や大阪のパン屋さんを3件ご紹介。地産地消にこだわりを持ったパン屋さんによって、えぐみがなく甘いねぎが主役の惣菜パンが誕生しました。



UKA



麦わらぼうし



カジパン工房



新たな繋がりをつくるため、 セミナーや商談会をご案内！

続いて、辰巳は食に関わる事業者同士の交流イベントや経営セミナー、商談会など、複数の事業者向けイベントをご紹介しました。なかでも、「FOOD COLLABO LABO」は多くの事業者との出会いにつながりました。



食の商談会 「FOOD COLLABO LABO」で広がる出会い

当金庫と京都北都信用金庫様が共催する「FOOD COLLABO LABO」は、生産者と飲食業・小売業・宿泊業者等とのマッチングや交流の場を提供する「食の商談会」です。辰巳は来場者に直接、商品の魅力や想いを伝えられる絶好のチャンスだと考え、ご案内。社長代理の河原崎様がリーダーとなり参加されることが決まりました。



初めての商談会に緊張されていた河原崎様。辰巳は事前準備として、会場の雰囲気をお伝えしたり、来場予定の事業者様のニーズに沿ったパンフレット作成をサポートしたりしました。さらに商談会当日には松井山手支店の支店長とともにブースに立ち、訪れた様々な事業者様をおつなぎするなど、販路拡大につとめました。

商談会をきっかけに3社と成約しただけでなく、普段出会うことの難しい有名料理店や老舗旅館をはじめとする多くの事業者と交流することができました！

オリジナル商品の開発ストーリー **NEXT**

想いをサポート

「九条一遍ねぎ」の 美味しさを全国へ届ける

一般的には「刈ねぎ」という、根を残して葉だけを刈る方法で、2〜4回収穫されることが多い九条ねぎ。

野井農園様の「九条一遍ねぎ」は、根つきそのまま一度きりの収穫で、えぐみを抑え、栄養価や甘味を最大限に引き出したねぎです。



京都・八幡市にある株式会社野井農園様は「九条一遍ねぎ」の農家です。

全国的に「刈ねぎ」の生産や販売が拡大する中、同社の代表取締役野井様は「九条一遍ねぎ」の知名度を広げ、多くの方に手に取ってほしい。そのために、同社のねぎを使った新商品の開発や、販路拡大を目指したいという想いがありました。

そこで、松井山手支店の営業担当辰巳は、その想いを実現するためのサポートを始めます。



代表取締役
野井 勝博様

社長代理兼
商品開発部リーダー
河原崎 由理様



オリジナル商品の 開発をサポート

当社では「九条一遍ねぎ」を全国の方に知ってもらうために、京都名産となる商品の開発を進めています。毎月実施される商品開発定例会では、辰巳は同社のねぎが「何に合うか」「誰に食べてほしいか」を一緒に考え、商品化にあたって必要な手続きをアドバイスするなど、現在もサポートを続けています。



野井農園
(左) 野井 勝博様
(右) 河原崎 由理様

辰巳さんは野井農園のために熱心に動いてくださいます。「こんなことをしたい!」と思ったことへのレスポンスのスピードに驚きました。これまでの物事がテンポ良く進んでいるのは辰巳さんのおかげです。今後ともご協力いただければ非常にうれしいです。



コミュニティ・バンク京信
辰巳 倫子

全ての方が笑顔になれる栽培を心掛けていらっしゃるというお言葉に共感し、支援させていただきたいという想いを持ちました。同社は当金庫を商品開発メンバーの一員と仰ってくださいます。今後も少しでもお役に立てる活動をしていきたいです。

2024年
1月22日

大津支店リニューアルOPEN!

地域に最も寄り添った
“コミュニティマネージャー”を
めざします!



地域の身近な店舗として、子育て世代からシニア世代まで多くのお客様に寄り添ってきた大津支店が新築オープン!

くらしやご事業のお悩みの解決や、地域のにぎわい創出につながるサポートにさらに注力いたします!

大津支店 滋賀県大津市中央一丁目9番20号 ☎077-522-1221



1974年

大津市信用金庫と合併し、京都信用金庫滋賀支店が誕生



1983年

滋賀支店
移転オープン

2007年

大津支店として
リニューアルオープン
滋賀支店は移転

2024年

大津支店
新築オープン



2分ほど、Cスクエアにお時間をいただけませんか?

アンケートのお願い



Cスクエアをいつもご愛読いただきありがとうございます。

より一層、皆様のお役に立てるものにしていくために、

アンケートへのご協力をお願いいたします。(所要時間約2分)



発行
コミュニティ・バンク京信
ゆたかなコミュニケーション室

京信のいちおし
ICHIOSHI
京信の取組紹介



京都信用金庫HP



@kyotoshinkinbank



@kyotoshinkinbank



Cスクエアバックナンバーはこちらからお読みいただけます！
[Click!](#)